

全 仏

NO. 236

3 / 53



仏跡シリーズ ⑦ <スリナガル—ダル湖>

インドの北の端にあるスリナガルのダル湖（カシミール州）です。女性はこの地方独特の風俗で、頭にかぶる頭布は美しいものです。三蔵法師がこの地を訪れて学問をなすっている。当時の遺跡や出土品がスリナガル博物館にある。

（カメラ・松本 栄一）

財団法人 全日本仏教会



新会長に大谷光真門主

評議員会、理事会ひらく

全日本仏教会では任期満了に伴う役員改選等のため、一月二十五日午後一時より、東京グランドホテルにおいて第十三期評議員会・理事会を開催し、会長の推戴、事業計画、予算案などの諸議案を慎重に審議した。なお会長に本願寺派・大谷光真門主、副会長に豊山派・川田聖見管長、和宗・出口常順管長、妙心寺派・山田無文管長、東大名誉教授・中村元先生を推戴した。

評議員会は、仮議長に田辺哲庵師を指名選出し、議事録署名委員に桜井大乗、岩脇宏信の両師を選出、まず議長に松村寿頭師を選出して上程された諸議案につ

いて審議した。

議案第一号「理事および監事の選出について」

前回にならぬ選考委員を選定し、理事等を選出する提案が出され、選考委員十一名を選出、別室にて選考委員会を開きその報告を受け審議し理事四十五名、監事三名を承認。(別掲)

議案第二号「会長および副会長の推戴について」

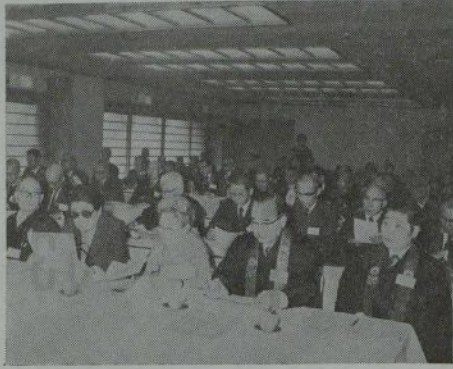
理事会での推戴決議報告をうけ承認。
議案第三号「昭和五十三年度事業計画について」

島田庶務部長より事務局案を説明、原案通り承認。

議案第四号「昭和五十三年度歳入歳出予算について」

市橋財務部長より事務局案を説明、原案通り承認。

熱心に審議を続ける評議員会



議案第五号「第十二回世界仏教徒会議日本大会開催規則および運営細則について」

山田WFB記念事業部長より事務局案を説明、原案通り承認。

報告事項①「新加盟団体ならびに退会団体について」

真言宗大鳴派の加盟ならびに国際伝道会の退会を報告。

報告事項②「第十二回世界仏教徒会議日本大会について」

大会準備の進捗状況を報告。

◇ 理事会は、議事録署名委員に四宮正音山本杉の両師を選出し議事に移った。

議案第一号「理事長および常務理事の選出について」

前理事会の決議により田辺理事長の重任を承認。常務理事は慣例にもとづき二十名を選出承認。(別掲)

議案第二号「事務総局人事について」

前理事会の要望決議を確認し、新理事了承の上で事務総長以下重任承認。

議案第三号「WFB日本大会実行委員会人事について」

新聞信雄師(副委員長)、池田泰道師(勸募委員)の遷化と貝山宣泰師の新任を承認。

議案第四号「会長および副会長の推戴について」

前理事会の選考委員会推薦案を上提し会長、副会長を異議なく承認、推戴を決定した。(別掲)

議案第五号「昭和五十三年度事業計画について」

原案通り承認。

議案第六号「昭和五十三年度歳入歳出予算について」

原案通り承認。

議案第七号「第十二回世界仏教徒会議日本大会開催規則および運営細則について」

事務局案を提示説明し承認。

事業計画 予算案 ほぼ前年度踏襲

昭和五十三年度の事業計画ならびに歳入歳出予算は、前述評議員会・理事会において事務局原案が承認された。

事業計画 別項掲載の通りほぼ前年度

を踏襲している。特に本年は第十二回WFB日本大会開催のため、全日本仏教会議が中止(明年茨城県で開催)され、その他でも事業縮少がみられる。しかし

WFB大会開催を機会に未加盟団体の加盟促進をすすめ組織強化に力を注ぐ。また日本仏教文化会議も大会にむけてのテーマで開かれる。

歳入歳出予算 WFB大会開催のため宗派・団体の負担金は据置となっており基本割などに変化はない。

歳出では全日本仏教徒会議がなかったため国内仏教徒会議費が大幅な減額。また渉外費がWFB大会との兼あいでも減額となっている。

新年度事業計画各局の内容

△総務局▽

基本目標 本会寄付行為第五条により各種の事業遂行に必要な措置を講ずる。

実施項目 (1)加盟団体との連絡提携の強化

大任をお受けして

大谷 光 真 全日本仏教会会長



さる一月二十五日全日本仏教会の評議の歴史の上に培われた、わが国の仏教を改めて世界に紹介すると共に、現代と未来の人類のために仏教がいかにあるべきかを問ひ、かつその役割を果たすうとする大きな課題について討議する

員会・理事会において、ご推挙いただき会長をお引き受けいたしました。いまだ本願寺派の門主を継職して日も浅く、若輩でございますので、この大役を果してつとめ得るか懸念いたしておりますが、先輩各位のご助言を受けながら、仏教徒の一員として、若さをもって専心努力いたしたく存じております。

ことに、本年は第十二回世界仏教徒会議日本大会が、東京・京都を会場とす

△組織局▽

基本目標 本会寄付行為第五条の事業目的たる仏教運動の実践および育成を主にし、時代に即応した全一仏教運動を強く推進すると共に構成団体の一層の強化と団結を期するため下記の事業を実施する

実施事項

- (1)未加盟団体の加盟促進
- (2)ブロック別各県仏教会代表者会議の開催
- (3)地方仏教運動の推進、地方仏教徒大会、講演会等へ協力
- (4)各地檀信徒会の充実と全国組織化の推進
- (5)時局対策
- (6)過年度採択事項の実施(担当事項)

△国際文化局▽

基本目標 本会の寄付行為第五条の事業目的たる世界各国のWFBセンターおよび仏教諸団体との連絡、文化交流を中核として仏教による国際親善と世界平和の実現を期する。また仏教運動の総合的企画促進、各種仏教運動の実践育成ならびに広報活動を活発に行うことにより全一仏教運動の促進をはかる

国際部

- 実施項目 (1)WFB関係
- (2)本部で決議された事項の実施

- (1)WFB第十二回日本大会開催、WFB常任理事会、ユネスコ会議等への出席および代表派遣
- (2)その他必要な事項
- (3)国際仏教交流関係
- (4)臨時に行われる国際会議または巡拝団等への代表派遣
- (5)訪日仏教徒の歓迎接待
- (6)在日各国公館との連絡接渉
- (7)海外における各宗派開教本部との連絡提携
- (8)各国の天災戦災等に対する救援活動
- (9)その他必要な事項
- (10)渉外広報関係
- (11)英文日本仏教ニュースの刊行企画
- (12)その他必要な事項

文化部

- 実施事項 (1)機関紙「全仏」の発行普及
- (2)日本仏教文化会議の企画および開催
- (3)各種教化資料の作成と普及(花まつりポスター等)
- (4)その他広報宣伝に関する事項
- (5)過年度採択事項と実施(担当事項)

榊田 秀山 (聖徳宗)

北河原公典 (華嚴宗)

国定 淨蓮 (真言三寶宗)

田中 真瑞 (信貴山真言宗)

帶盛 龍応 (真言宗大鳴派)

大山 仙遊 (北海道仏教会連盟)

(岩手県仏教会連盟)

板垣 隆寛 (山形県仏教会)

(福島県仏教会)

○黒田 白純 (群馬県仏教会連合会)

塚田 賢照 ("

大越 孝仁 (茨城県仏教会)

○大島 見道 (埼玉県仏教会)

北之内真龍 ("

○土持 良栄 (千葉県仏教会)

桜井 大乗 (東京都仏教会連合会)

村瀬 博道 ("

北川 有光 ("

貝山 宜泰 (神奈川県仏教会)

小沢 省元 ("

広川 芳雄 (新潟県仏教会)

(富山県仏教会)

(石川県仏教会)

(福井県仏教会)

大森 弘道 (山梨県仏教会)

三浦 義薫 (長野県仏教会)

○大石 好文 (岐阜県仏教会)

伊藤 禅覚 (静岡県仏教会)

岩田 利文 ("

○村瀬 良彦 (愛知県仏教会)

宇佐美諦練 ("

(三重県仏教会)

木辺 宣慈 (滋賀県仏教会)

○横井 鶴洲 (京都府仏教会)

○川口 良信 (大阪府仏教会)

○佐藤 寛雄 (兵庫県仏教会)

(和歌山県仏教会)

米田 淳雄 (島根県仏教会)

華山 恵光 (岡山県仏教会)

大橋 寛阿 (徳島県仏教会)

松下 教道 (香川県仏教会)

五葉 正道 (愛媛県仏教会)

(高知県仏教会)

○ (福岡県仏教会連合会)

(沖縄県仏教会)

▽植松 威 (朝日生命仏教研究会)

(京都仏教徒会議)

壬生 照順 (近代仏教研究会)

大橋 邦正 (国柱会)

(真理運動本部)

○山本 杉 (全日本仏教婦人連盟)

▽船口 暉子 ("

平原 隆秀 (全日本仏教青年会)

○中山 理々 (日本仏教鑽仰会)

(日本仏教保育協会)

富高 行保 (日本山妙法寺大僧伽)

(東日本詠歌連盟)

吉田 昭炳 (梵人会)

小熊 寛澄 (仏教徒政治同盟)

若麻續直人 (善光寺)

巖谷 勝雄 (国際仏教興隆協会)

竹村吉石衛門 (仏教振興財団)

内田 大寛 (東京ブティストクラブ)

○沼田 恵範 (仏教伝道協会)

東西でにぎやかに新年懇親会

WFB大会の成功を期して



懇親会であいさつする大谷新会長

せよう」と挨拶し、来賓として大平正芳
自民党幹事長が祝辞を述べ、望月日滋前
副会長の乾杯で宴に入った。スピーチは
各宗代表、県仏・団体代表、仏婦・仏青
代表がつぎつぎに立って年頭所感を述べ
た。最後に貝山神奈川県仏会長の首頭で
全日本仏教会の弥栄と、今年開催される
第十二回世界仏教徒会議日本大会の円成
を祈って万歳三唱、安藤事務次長の閉会
の辞で散会した。

西

西日本を中心とした新年懇親会は二月
七日午後四時より、京都ホテルで開催さ
れ、大谷会長をはじめ、関西方面の各宗
管長、宗務総長、県仏会長、総大本山貫
首、WFB実行委員会など九十名が出席
し盛大に挙行された。

全日本仏教会の新年懇親会は一月二十
五日午後四時半より、評議員会・理事会
に引き続いて東京グランドホテルで開催
され、大谷光真新会長をはじめ、各宗派
管長、宗務総長、県仏・団体代表、WFB
実行委員など百三十名が出席し盛況で
あった。

中村文化部長の司会ですすめられ、講
演事務総長の開会の辞、川田聖見新副会
長の導師で三幡依文唱和のあと、大谷会
長が「若輩の身ですが、いたらないとこ
ろは若さでおさないますので、皆様のこ
協力をお願いいたします」と挨拶。つづ
いて田辺理事長が「WFB大会を成功さ

務総長の力強い乾杯のあと、各宗、各県
仏、各山の代表がつぎつぎとスピーチを
行ない非常に盛況の祝宴であり、「この
熱をさますことなくWFB大会を成功さ
せよう」と京都府仏・小林忍戒理事長が
万歳三唱、関西事務局・藤田説量事務総
長の閉会の辞で散会した。

WFJB日本大会

準備急ぐ 各委員会

第三回会議委員会

会議委員会(金岡秀友委員長)は一月二十三日午後五時より全仏会議室で開かれ、金岡委員長を議長に「分科会およびパネルディスカッションのテーマと持ち方」等について協議した。

一、分科会とパネルディスカッションの関連をもたせるため、パネルディスカッションを分科会のもとに設定し、総括する日程にした方がよい。

二、分科会のメインテーマを「仏教徒が思考する未来社会像」(案)とする。

三、サブテーマ案として「近代諸思潮と仏教的思考」・「アジアの現状と仏教徒の使命」・「二十一世紀の僧伽形成」を取り上げて分科会を設定、他に婦人、青年の二分科会を予定する。

四、パネルディスカッションはサブテーマから煮詰め、分科会講師の人選にからめて考慮する。

五、四については金岡委員長を中心に助言者数人を得て素案を作成する。

第二回接待委員会

接待委員会(板橋有成委員長)は一月二十七日午後二時より全仏会議室で開催され、次の事項について協議した。

一、副委員長選出、東東、京都を考慮して東側・樹谷淳宣師、西側・池田登輝

師を選出した。

一、JTBより説明 JTBの担当者から接待業務に配する説明があった。

一、接待スケジュールごとの担当者選出 開会式(樹谷淳宣、内田大寛) 東仏レセプション(小泉顕哲、篠本宏昌) 歓迎大会(織内七部、及川真介) 京都府仏レセプション(小泉宗和、八橋秀雄)の各委員にお願いする。その他に送迎(近藤隆敬―東側、能邨英士―西側) 来賓(壬生照順)の各委員に依頼する。

一、レセプション 東京都仏・京都府仏にそれぞれお願いする。

一、その他 代表団に贈る記念品について、代表団の夫人同伴の場合にその夫人接待について、会議に出席しないオプザーバーなどのスケジュールについてなどの問題点がだされ検討することとなった。

式典委員会も第二回

式典委員会(新美孝道委員長)は一月三十一日午後二時より全仏会議室において次の事項にそって協議された。

一、副委員長選出 仲田順和師選出。

一、ISSより説明 式典関係作業について説明(開会式、歓迎大会など)

一、地方大会 事務局より現況報告。
一、各式典ごとの担当者選出 (開会式) 本願寺派の実行委員中心に局長一任

(歓迎大会) 伊藤完夫、井上日宏、新井智清、橋高智雄(増上寺) 池月孝文、五島行宣、坂本観晃(開会式) 関西方面実行委員の中よりチーフを決める。これら担当委員を中心に特色をだして式次第を作成する。

一、確認、注意事項 各国旗は出さない。比尼の食事時間は正午までに終了のこと。歌などについては仏教聖歌であることを比尼に説明する。代表団入場のプログラード名について検討する。各式典に特色を出す。

記念事業委員会

第三回記念事業委員会(花山勝友委員長)は一月二十一日午後四時より全仏会議室で開催され、前回委員会報告と準備経過報告のあと、記念出版と墨跡チームでそれぞれ協議した。

△記念出版チーム▽
一、最初から英文にて執筆依頼する。
一、用語統一のため編集会議にて原稿を校正する。

一、出版内容は、①歴史と思想篇、②生活と文化篇、③資料篇からなり、二百頁程度でA5版とする。

一、執筆者は田村完誓、坂東性純、村野宣忠、市村承業、花山勝友、小笠原隆元、松寿弘道、奈良康明、島啓隆、村石恵照、佐伯真光の各先生が分担する。

△墨跡展チーム▽
一、会場については大丸、松屋などが店内事情で開催不可能であるが、他のデパートに打診中である。

一、御染筆依頼は全宗派管長、各本山貫主等に御依頼する。

一、その他の展示会については①チベットの仏教会より申し入れの件について検討する。②仏教絵画の出版が行なわれており、これら展示会の計画の申し入れがあり検討する。③鬼原素俊師の個展を三越にて九月に開催決定。

記念事業委員会の展示会チーム会議は二月十三日午後四時より全仏会議室で開かれ、経過報告のあと諸展示についてごまかい点を協議した。

一、墨跡展の会場について 三越・西武と交渉をしている。用紙の発送については、従来の関係で業者に依頼することに決定した。墨跡の依頼先については各宗派の管長・長老の外に、僧職の能書家や仏教関係の書家などをお願いする。

一、その他の展示については、仏教関係出版の展示、三石造形梵宇展、チベット秘宝展などについて検討した。

仏教英語研究会

彼岸明けに集中合宿

仏教英語研究会は、毎月四回午後六時より新宿の常円寺(日蓮宗)を会場に、熱心に講義が開催されている。三月も彼岸までに四回の講義を行ない、彼岸明けの二十七日より三十日までの三泊四日高尾山薬王院で集中合宿を開き仏教英語学生の養成に力を注ぐ。なお大会までは毎月四回と夏にもう一度集中合宿を開催する予定。

正副委員長会議

第一回実行委員正副委員長会議は一月十二日午後二時より全仏会議室で開催され、罇淵総長、麻布総局長の挨拶のあと議事に入り、①これまでの経過報告、②大会開催規則、運営細則案の検討、③各種委員会事業経過説明などが話しあわれた。

第三回実行委員正副委員長会議は二月十三日午後二時より全仏会議室で開催され、麻布総局長挨拶のあと議事に入り、①経過報告、②WFB日本大会実行副委員長長の選出、③実行委員の追加・移動について、④大会役員推薦案について、⑤二月十六、十七日に開かれるWFB執行委員会要望等について（鎌田国際部長出席、オプザーバーとして永倉全日仏青副

理事長出席）、⑥各小委員会報告及び問題点検討、⑦その他などについて話し合われた。

WFB青年大会の開催を受諾

全日仏青の理事会

全日本仏教青年会（平原隆秀理事長）は、一月二十三日午後二時より東京グランドホテルで理事会を開き、世界仏教青年連盟（WFBY）加盟などの案件について協議した。

- 一、WFBY加盟の件
- 正式に加盟することを承認。
- 一、WFB大会青年大会開催の件
- 第十二回WFB日本大会期間中に青年大会開催を受諾することに決定。
- 一、WFB青年大会実行委員会の件

第十二回WFB日本大会

地方大会開催のお願い

第十二回世界仏教徒会議日本大会はいよいよ今年十月に実施いたすよう準備におおわらわであります。大会終了後の十月八日より十四日にかけて、大会記念地方大会を計画させて頂いております。本件につきましては、すでに六月二十日付小職名による文書をもって御依頼申し上げておりますが

現在までに三ヶ所の地域で開催のご要望を頂いております。

本会といたしましては、かつて第二回WFB日本大会の際に、全国二十数ヶ所で開催され、それぞれ実績を上げられ其後の活動に大いなる貢献をされたよし、受け賜っております。

青年大会開催受諾に伴い全日仏青加盟団体より各一名と全日仏青役員をもって実行委員会を設置することで了承。

◇ 掲 ◇ 示 ◇ 板 ◇

武田師がルンビニ開発に献金

川越市・真行寺の武田慧照師が来局、ルンビニ開発にと浄財百万円を献金された。武田師は昭和四十六年にルンビニ復興の浄財第一号として全仏に寄託されて以来、熱心にこの運動を勧められておりWFB事務局では感謝している。

豊山派人事

▼真言宗豊山派では熊野竜夫宗務総長の退任に伴い林亮海師を新宗務総長に選出した。内局は次のとおり。

宗務総長・林亮海、総務部長・永見聖宏、教務部長・吉田俊普、教化部長・門

つきましては、この機会に、貴会（団体）におかれまして是非とも記念行事をご主催いただき、来日外国代表との親善提携と、日本仏教文化のご紹介の労をとって頂きたく、お願い申し上げます。

なおご要望がございましたら、ご依頼とご説明のため本会事務局員を派遣いたしますので、ご遠慮なくお申出下さいますようお願い申し上げます。

第十二回WFB日本大会事務局

事務総局長 麻布照海

屋大寿、財務部長・岩脇宏信

妙心寺派人事

▼臨済宗妙心寺派では梶浦逸外管長の後任として、第二十四世管長に山田無文師を選出した。

法華宗本門流派人事

▼法華宗本門流では芹沢泰寛宗務総長の退任に伴い蓮池東洋師を選出した。新内局は次のとおり。

宗務総長・蓮池東洋、教学部長・赤田泰圓、庶務部長・川口善教、教化部長・木村日應、財務部長・石田智清。

静岡県仏人事

▼静岡県仏教会では小倉日宝会長の任期満了に伴い、新会長に伊藤禪寛師、事務局長に岩田利文師選出就任した。事務局！浜松市池川町二七ノ一天林寺内。



新美 孝道師（全仏国際専門委員会副委員長、WFB式典委員長）

二月十四日急性肺炎のため遷化、八十三歳。全仏では長く国際専門委員として尽力。今年開催のWFB日本大会実行委員会式典委員長として準備に奔走されていた。また大本山総持寺常任顧問、保護司、地区仏教会会長など宗内外にわたって活躍された。本葬二月二十一日。

新聞 信雄師（全仏元組織局長、WFB実行委員会副委員長）

十二月二十八日心不全のため遷化、六

十九歳。全日本仏教会の組織局長、国際文化局長を歴任、組織専門委員、WFB日本大会実行委員会副委員長。また日蓮宗会議員、日蓮宗護法運動本部事務局長、世界連邦日本仏教徒協議会理事長などを務められた。本葬儀は四月六日。

埼玉県仏新年会出席

十八日 局内会議

二十一日 全日仏婦新年修正会出席

二十五日 理事・評議員会

二十六日 新年懇親会

三十日 局内会議

三十日 日宗連理事会

事務総局録事 (一・二月)

(一月)

九日 仕事始め

十一日 局内会議

(二月)

六日 局内会議

七日 関西新年懇親会(京都)

二十日 局内会議

二十一日 新美孝道師本葬参列

* 4月8日はお釈迦さまのお誕生日
花まつり



花まつりのポスター

どしどしご利用下さい

花まつりの行事は年々盛大に行われていますが、さらに全国的に浸透せしめるために、全日本仏教会では写真のよう統一したポスターを作成し、広

くご利用いただけるよう頒布しております。明るく春の野に静かに立って天と地をさすお釈迦さまの姿は、見る人の心に安らぎを与えることと思ひます。左記要領で頒布いたします。各県仏、郡市仏、各寺院、幼稚園、保育園などで広くご利用下さい。

◎サイズ 74×52センチ
◎定価 一枚百円
(送料実費—三十枚)

以上は送料全仏負担(外国は別途) ◎申込先 東京都台東区西浅草一—五(〒111) 全日本仏教会花まつりポスター係宛

十四日 文化庁打ち合せ会(文化庁)

WFB事務局録事 (一・二月)

(一月)

十二日 委員長会議

二十一日 記念事業委員会

二十三日 会議委員会

二十六日 仏教英語研修会

局内会議

二十六日 仏教英語研修会

二十七日 接待委員会

三十一日 式典委員会

(二月)

八日 会議小委員会

十三日 委員長会議

記念事業委員会

仏教英語研究会

十六日 WFB執行委員会(タイ)

局内会議

二十日 WFBY大会実行委員会

局内会議

二十三日 仏教英語研究会

二十五日 式典小委員会

お願い

「全仏」誌に情報をお寄せ下さい。またようお願いいたします。特に地域仏教会の活動や寺院のアイデア等をお待ちしております。(連絡先) 全日本仏教会文化部長 仏誌宛 一八四三・六三四一

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2—10—9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

本堂・ご宝前・客殿その他寺院内の敷物に

あかね毛氈



ALL NEW WOOL

全国どこへでも発送します。カタログご希望の節はお申し下さい。特別頒布価格にて奉仕します。

白井フェルト株式会社

〒111 東京都台東区寿3丁目1番7号

TEL 03(842)3841